

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 新規・拡充 マスタープラン： 3つの挑 1-2 施策番号

局・課名： 健康福祉局 ころの健康センター

事業名	ひきこもり支援事業	事業費(千円)	平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額
			0	0	16,678
【目的】 ひきこもり支援を推進するための体制を整備し、ひきこもり本人や家族等を支援することにより、ひきこもり本人の自立を推進し、本人及び家族の福祉の増進を図る。 【内容】 ■「ひきこもり支援」 ひきこもり地域支援センターを設置し、本人及び家族等からの相談に応じ、必要な支援を提供する。家庭訪問等の個別相談のほか、外出可能な者に対しては社会参加の準備として、ボランティア体験や就労準備などの作業を含めた集団支援を実施する。 また、地域における関係機関とのネットワークの構築や、ひきこもり対策にとって必要な情報を広く提供する役割を担う。 【今年度要求のポイント】 相談者数の増加、8050問題などの複雑化、ひきこもり問題の長期化などに対応するため、ひきこもり地域支援センター(ころの健康センター)の体制の強化を図る。 ①専門チームに精神保健福祉士を加え、多種多様事案に対応できる体制を構築 ②安心して過ごせる「居場所」や自らの役割を感じられる「社会参加活動」を提供 ③ ひきこもりに関する知識を普及啓発、関わり方についての研修等を行いながら、見守りができる支援体制を構築	期間	要求額(千円)			
	R ~ R				
	主な要求内容	(単位:千円)			
	項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等	
	専門相談等医師報酬	0	672	ひきこもり相談業務	
	専門職(嘱託員)報酬	0	11,120	精神保健福祉士、臨床心理士、作業療法士 計4名	
	専門職(嘱託員)期末手当	0	2,208	精神保健福祉士、臨床心理士、作業療法士 計5名	
	謝礼金	0	1,254	ひきこもりグループワーク、家族教室講師謝礼	
	研修旅費、専門職(非常勤)の通勤費	0	996	ひきこもり対策研修(東京) 他	
	消耗品費	0	250	心理検査、調理材料費	
通信運搬費、行事保険料	0	113	専用電話、郵送費等		
会場借上、使用料	0	25	所外行事会場料、訪問時用駐車場一時利用料		
研修会等参加負担金	0	40	ひきこもり地域支援C全国連絡協議会参加費等		
合計	0	16,678			
スケジュール(経過及び今後展開)					
【経過(～元年度)】 ひきこもり地域支援センターによるひきこもり相談の継続	【2年度】 ひきこもり本人及び家族の高齢化に対応するため、訪問等よりきめ細やかな相談を実施する。	【今後予定(3年度～)】 事業の継続実施			
その他 特記事項					
関連事業：子ども・若者育成支援推進事業(子ども家庭課)					